

「高齢者の歩行・身体活動のセンサー計測による定量的評価方法の確立並びに
高齢者転倒予測モデル開発」についてのお知らせ

当部では2023年4月20日～2028年12月31日にかけて、以下の研究を行います。なお、本研究は大阪大学医学部附属病院の観察研究等倫理審査委員会の承認を受けています。

{研究概要}

① 対象

- (1) 50歳以上の大阪大学医学部附属病院の入院・外来患者で、文書による同意が得られた患者。
- (2) 50歳以上で、共同研究施設における入院・外来患者で、文書による同意が得られた患者。
- (3) 20歳以上で、インターネットやポスター等の通知による公募で集まった大阪大学並びに共同研究施設の位置する地域における一般の住民

② 背景と目的

高齢者の転倒は、年齢とともに増加し、65歳以上の一般社会で生活する人の約30%、同じく65歳以上の高齢者施設で暮らす人の50%が毎年、転倒を経験するとされています(Kannus P, et al. Lancet 2005 Nov 26;366(9500):1885-93.)。これらの転倒の約20%は医療的な介入が必要となり、長期の疼痛や機能不全、死亡の原因となり、高齢者自身のみならず周囲の介助者の精神的、身体的負担の増加、さらには医療システムの負担や国家規模の財政負担として世界各国で問題となっています。そこで、機能障害(disabilities)を客観的に正確に評価できれば、個々の高齢者の転倒リスクをより正確に予測できるのではないか？あるいは、従来は評価できなかった機能障害の測定項目で、高齢者の転倒リスクを正確に予測する因子があるのではないか？ということをより大規模に、実際の高齢者のデータをもとに検討することが本研究の目的です。

③ 方法

9軸加速度センサーを被験者の足部(被験者本人の靴やスリッポン等の甲部に専用のアタッチメントを用いて装着)に装着し、10歩程度歩行することでクラウドにデータを集積します。同時に、同デバイスの操作用タブレットに実装されているモーションキャプチャーにより、体幹、四肢のバランス等のデータも収集します。

④ 研究の開示

本研究で得られた成果は、学術論文や関連学会において発表することにより公表する予定です。対象者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産等の保護や、本研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料をご

覧いただくことができます。ご希望される方は、下記の相談窓口までご連絡ください。

⑤ 個人情報の取り扱い

本研究は、大阪大学医学部附属病院観察研究等倫理審査委員会の承認済みであり、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則って実施され、個人情報の保護については、十分に配慮いたします。本研究で取り扱う参加者のデータについては、個人が特定できる情報を削除して管理します。本研究は、横浜市立大学附属市民総合医療センターとアシックススポーツ工学研究所との多機関共同研究となります。個人が特定できる情報を削除した上で、得られた情報を共同機関で共有する場合があります。本研究の成果は、論文や学会にて発表される予定ですが、その際にも参加者個人を特定できる情報が使用されることはありません。

⑥ 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部
アシックス スポーツ工学研究所

⑦ 研究への参加を取り消す方法

本研究への参加を取り消したい場合は、ご本人または代理人の方から下記相談窓口までご連絡ください。ご連絡いただいた参加者の情報の利用を停止させていただきます。これによって不利益が生ずることは一切、ありません。

⑧ 研究責任者名・相談窓口

研究責任者

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長 中島 和江

住所: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

電話: 06-6879-5111(代表)

相談窓口

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 佐藤 仁

住所: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

電話: 06-6879-5111(代表)

ご不明点や心配なことなどございましたら、遠慮なくご相談ください。